

和歌山県 話題事項
令和7年11月5日
資料提供済
令和7年9月5日

国民参加の森林（もり）づくりシンポジウムの開催について

～第49回全国育樹祭1年前キックオフイベント～

令和8年秋に本県で初めて開催される全国育樹祭の1年前キックオフイベントとして、国民参加の森林づくりシンポジウムを下記のとおり開催します。

本県では、全国に先がけ1994年（平成6年）から森林林業教育を実施してきました。本シンポジウムでは、今までの取組みを振り返るとともに、これからの森林教育の在り方や教育分野での取組み等について、さまざまな視点から考えていきます。

記

◆日 時：2025年11月29日（土）13：30～16：30

◆場 所：和歌山県民文化会館 小ホール

◆内 容：13：30～開会挨拶
13：40～基調講演【講師 尾木直樹氏】
14：50～パネルディスカッション
16：00～プレゼント抽選会
16：25～閉会挨拶

◆参加方法：事前申込制、先着300名
【申込期間：9月19日（金）～11月7日（金）】

※詳細は別紙チラシをご確認ください。



（連絡先）

農林水産部 森林林業局 森林整備課 全国育樹祭推進室

（第49回全国育樹祭和歌山県実行委員会事務局）

担 当：小和田（こわだ）

電 話：073-441-2579（内線2582）

国民参加の

第49回 全国育樹祭
1年前キックオフ
イベント

もり 森林づくり シンポジウム

緑の資源を継続的に循環させていくためには、次世代のこどもたちが緑に関わる機会を増やし、森に対しての理解・関心を持つ人を増やしていくことが必要です。

本県では、全国に先がけ1994年（平成6年）から森林教育（和歌山県での通称『緑育』）を実施してきました。

本シンポジウムでは、今までの取組みを振り返るとともに、これからの『緑育』の在り方や教育分野での取組み等について、さまざまな視点から考えていきます。

基調講演（60分）

自然教育の魅力
～AI時代に育む力～

講師：尾木 直樹氏

教育評論家、法政大学名誉教授
臨床教育研究所「虹」所長



2025
11/29（土） 13:30～16:30
（開場12:30～）

場所 和歌山県民文化会館小ホール
〒640-8269 和歌山市小松原通り一丁目1番地

定員 300名（事前申込制・先着順）
【申込期間】9月19日（金）～11月7日（金）
※定員に満たない場合は、申込期日を過ぎても受け付けます。

事前申込して
いただいた方の中から
抽選で3名様に
尾木直樹さん
サイン入り著書を
プレゼント！

参加
無料

パネルディスカッション（60分）

テーマ『これからの森林教育—子どもたちの心に森を育てる』

コーディネーター 大浦 由美氏（和歌山大学観光学部教授）

パネリスト 浦西 大樹氏（マルカ林業株式会社山林部課長）

パネリスト 岡田 和久氏（和歌山県森林インストラクター会会長）
（NPO法人根来山げんきの森倶楽部事務局長）

パネリスト 佐道 匡子氏（manma place共同代表〈めぐみと森のようちえんの運営団体〉）

パネリスト 平山 大輔氏（三重大学学長補佐・教育学部教授）

パネルディスカッション
終了後に
プレゼント抽選会
があります！

【主催】和歌山県、（公財）森林文化協会、（公社）国土緑化推進機構、朝日新聞社

【後援】林野庁、森林づくり全国推進会議、和歌山市、和歌山県教育委員会、和歌山市教育委員会

第49回 全国育樹祭
LINE公式アカウント



申込方法については、裏面をご確認ください！

基調講演



尾木 直樹氏

教育評論家、法政大学名誉教授
臨床教育研究所「虹」所長

滋賀県生まれ。早稲田大学卒業後、私立海城高校、東京都公立中学校教師として、22年間ユニークで創造的な教育実践を展開。その後22年間大学教育に携わる。2004年に法政大学キャリアデザイン学部教授に就任。2012年4月同大学教職課程センター長・教授。定年退官後、現在は法政大学名誉教授。NHK Eテレ「ウワサの保護者会」では長年MCとして活躍し、現在も多数の情報・バラエティ・教養番組に出演。「尾木ママ」の愛称で幼児からお年寄りになで親しまれている。「尾木ママ流生きるヒント 伸ばしたい9つの力」(きずな出版)など著書多数。

タイムスケジュール

- 13:30～ 開会挨拶
- 13:40～ 基調講演【60分】
- 14:50～ パネルディスカッション【60分】
- 16:00～ プレゼント抽選会
- 16:25～ 閉会挨拶

パネルディスカッション



大浦 由美氏

和歌山大学観光学部教授

埼玉県ふじみ野市出身。信州大学農学部および同大学院農学研究科修士課程修了後、名古屋大学大学院生命農学研究科を経て、2008年より和歌山大学観光学部准教授、2015年より現職。専門分野は森林経済学、観光学。「交流で育む豊かな森・里・人の暮らし」をテーマに、「地域資源管理における多様なパートナーシップの形成」「森林空間を総合的に活用したツーリズムの発展」などの視点から研究教育を行っている。

コーディネーター

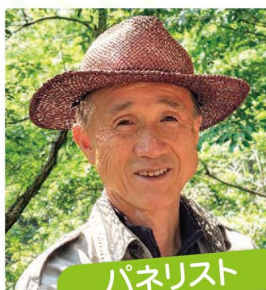


浦西 大樹氏

マルカ林業株式会社山林部課長

和歌山県有田川町(旧清水町)生まれ。2001年に地元企業であるマルカ林業株式会社に就職。会社の方針で森林環境教育を始めるため、北欧発祥の森林環境プログラムを実践しているLEAFローカルインストラクターの資格を2012年に取得。森林環境教育以外でも管理山林の隣接所有者にプランナー活動を行い、2017年には森林施業プランナーの資格を取得。2024年には和歌山県指導林業士の認定を受けるとともに、同年に森林総合監理士試験に合格。

パネリスト



岡田 和久氏

和歌山県森林インストラクター会会長
NPO法人根来山げんきの森倶楽部事務局長

和歌山県高野町生まれ。和歌山県庁で林業職に従事する傍ら、森林インストラクターとして県内各地の森を案内してきた。県立森林公園根来山げんきの森でボランティア仲間と里山公園の管理を行いつつ、来園者に里山に触れ合う機会を提供してきた。また、県内の森の魅力や役割、抱えている様々な問題点について学ぶ「わかやま森づくり塾」を主宰。さらに、紀伊半島で見つかった新種の桜クマノザクラの保護にも取り組んでいる。

パネリスト



佐道 匡子氏

manma place共同代表「めぐみと森のようちえんの運営団体」

大阪府堺市生まれ。大学卒業後、公立小学校の学童保育の現場で3年間責任者として勤務。その現場で、自信や意欲がない子どもたちと日々向き合い、大人のあり方、子どもへの関わり方で、子どもが変わる事に気づき、大人が変わらないと子どもが変わらないと痛感した。その後、パートナーと共に2017年より認可外保育事業「めぐみと森のようちえん」など、子どもと子どもを見守る大人を対象とした事業を展開している。

パネリスト



平山 大輔氏

三重大学学長補佐・教育学部教授

広島県生まれ。2005年、大阪市立大学大学院理学研究科後期博士課程修了し、博士(理学)取得。2009年、三重大学教育学部に着任。カシ類を中心とした樹木の生態や生存戦略などについて研究している。教育では、小・中学校の教員養成の一方で、三重県等と連携して森林教育の取組を進めてきた。また、三重大学が実施している「三重ジュニアドクター育成塾」の代表を務め、小・中学生の自由研究の支援を行っている。

パネリスト

申込方法

参加を希望される方は、二次元コードの専用フォームからお申込みください。
もしくは、下記問い合わせ先へメールまたはFAXにより、下記の必要事項を記入したお申込みも受け付けます。
①氏名 ②住所 ③電話番号 ④メールアドレス
⑤その他(車いす使用、手話通訳、要約筆記、一時保育の申込など)
※一時保育を申し込まれる場合は、お子様の名前と生年月日も記入してください。

申込専用フォーム

問い合わせ先

第49回全国育樹祭和歌山県実行委員会事務局
(和歌山県 農林水産部 森林林業局 森林整備課 全国育樹祭推進室)
TEL:073-441-2579 FAX:073-441-2576
E-mail:ikujusai@pref.wakayama.lg.jp

申し込みは
こちらから



URL:<https://logoform.jp/f/AP9rv>